

地方創生推進交付金の活用事例

岡山県矢掛町

(事業年度令和3年～5年 140百万円)

矢掛町の基本情報

1. 地勢

位置：岡山県の南西部、中山間地域

面積：90.62平方キロメートル

人口：13,285人(2023年12月末 前月対比+18人)

高齢化率：39% (2020年時点)

主要産業：農業

交通：井原鉄道井原線

車：玉島IC、鴨方IC、笠岡ICより20~30分

気候：年間を通じ温暖（西日本豪雨で被災した）

2. 歴史と文化

吉備津彦伝説

吉備真備ゆかりの地（下道氏）

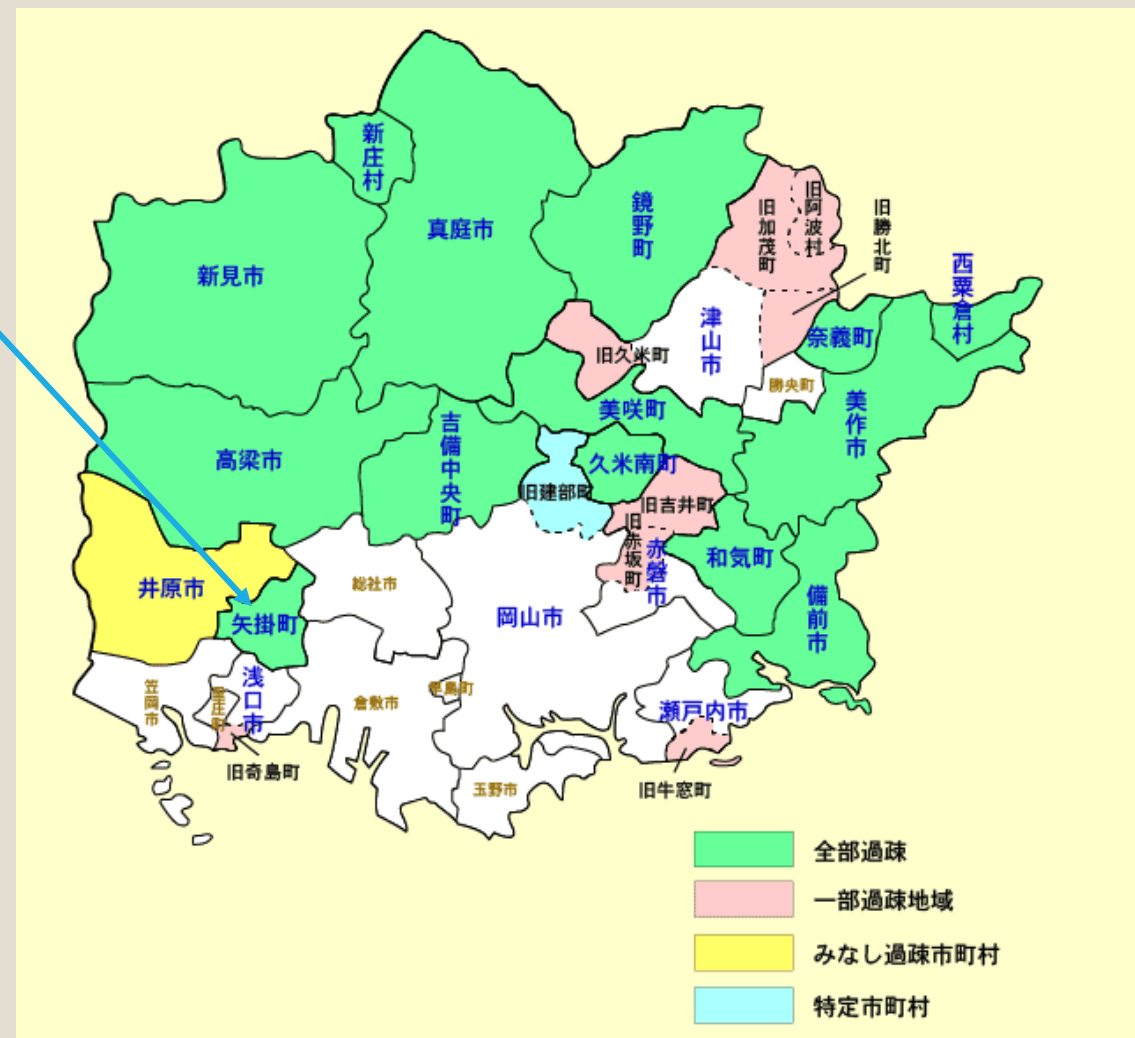
安倍晴明遺跡

山陽道の宿場町：発足4百年の歴史、本陣、脇本陣

3. 財政状況

財政力指数：0.34（2021年度 岡山県27市町村中15位）

財政規模：歳入114億円、歳出110億円（2020年度）



岡山県の過疎市町村マップ（全国過疎地域連盟）

地方創生推進交付金事業の提案

1. 2020年12月9日（水） 地方創生推進交付金を活用した町の**広報・プロモーション事業支援**を提案。
(町長)

12月末迄に商店街の電線地中化が完成、3月末には「町ごと道の駅」構想に基づく施設も完成予定。
観光町おこしの課題はソフト面の施策（その場で岡山県に電話をし矢掛町の意向を伝えた。）

2. 2020年12月25日（金） 交付金申請書作成のための事業計画案（JALF作成）につき意見交換
(町長)

矢掛町がこれからDMOを中心に取り組もうとしていた趣旨とドンピシャの内容で異存はない。
本プロジェクトの主担当は**産業観光課**、交付金申請手続きは**企画財政課**が担当する。

(DMO理事長)

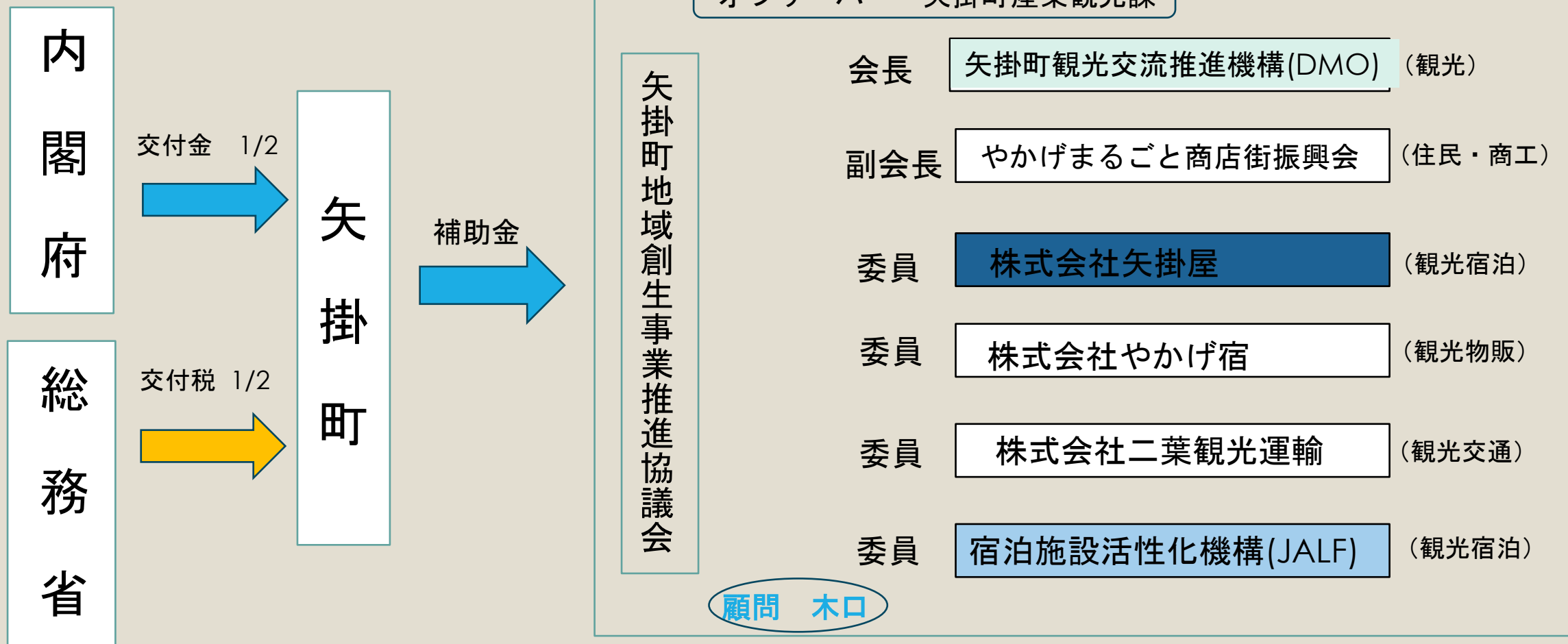
観光実態確認のため観光客アンケート調査費用として来期予算（3百万円）を申請予定だったが本交付金が下

りればその事業費で吸収できるし、さらに大掛かりな**調査等もできる**。

(矢掛屋社長)

矢掛屋の運営は苦しくキャンペーンなどできなかったが本交付金事業で経費負担してもらえらなら
新規のイベント計画等も実施できる。**前向きに取り組んでいきたい**。

地方創生推進交付金事業推進体制



交付金事業(令和3年～5年)と実施後の成果

● 実施事業

- ・ 矢掛町観光振興ビジョンの策定
- ・ 各種イベントの開催（町内商店街）
- ・ セミナー、カンファレンス実施（町内外）
- ・ マスコミ対策（ローカル局への売り込み → キー局での放映）
- ・ 全国自治体への情報発信

● 成果

- ・ 観光客数の増加
令和2年：27万人 → 令和5年：55万人
- ・ 他自治体からの視察増加
- ・ 新規開設店舗の増加
- ・ 住民満足度アップ
令和4年：中国地方No.1
令和5年：中国地方No.2

交付金申請、事業成功の要素

◆ 天の時：インフラ整備



◆ 地の利：観光素材



◆ 人の和：首長
地元活動家
よそ者
地元出身者

交付金申請、事業推進時の課題

■申請段階（1月中旬）

- ・ 首長の理解と実行力
 - 対議会：予算措置の承認
 - 対職員：業務指示
- ・ 申請書の作成（事業計画案）

■交付金採択通知（3月末）

■事業推進段階（4月～）

- ・ 補助金受皿となる組織の設立（利害関係者の役割調整）
- ・ 実行計画策定、実施
- ・ 効果確認（PDCAサイクル）

